

主管部局 子ども家庭部 施策の目的 すべての子どもが健やかに育ち、地域全体で子育てできるまちをつくる



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R4実績	R5実績	R6実績	単位	目指す方向
18歳未満の人口	住民基本台帳人口（市民課）各年4月1日	38,314	39,388	39,947	人	-
合計特殊出生率	15～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性が一生の間に生む平均子ども数を推計したものの（千葉県健康福祉部） 値はR3、R4、R5のもの	1.56()	1.50()	1.46()		↑
流山市は子育てがしやすいまちだと思ふ市民の割合	「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合（まちづくり達成度アンケート）	67.2	66.4	66.8	%	↑

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組内容 これまでの「子ども・子育て支援事業計画」、「次世代育成支援行動計画」、「子ども・若者育成支援計画」、「こどもの貧困の解消に向けた対策計画」を含む一体的な計画として、令和7年度から令和11年度までの5年間を計画期間とした「流山市子ども計画」の策定に努めました。	・現状 「流山市子ども計画」で掲げている基本目標ごとに各事業を位置付け、こども・子育て施策を総合的かつ計画的に推進します。
・評価 こどもや子育て家庭のライフステージに応じた切れ目ない支援や多様なニーズにきめ細かく適切に対応していけるよう、行政側の視点だけでなく、こどもや子育て当事者等の意見を取り入れた計画の策定が行えました。	・課題 こどもを安心して育てていけるよう、子育て支援サービスの充実を図るだけでなく、今後はこどもや若者が主体的に参加するための仕組みづくりが必要だと考えています。また、増加する児童虐待に迅速かつ適切に対応するため、引き続き関係機関との連携強化を図る必要があります。
・改善点 計画の策定に当たっては、こどもや若者、保護者、関係団体にアンケートやヒアリングを行い、聴取した意見を取り入れながら、計画の策定に取り組むことができました。	・取組内容 こどもや若者の成長を促すため、若者が気軽に立ち寄り、安心して自由に過ごせる居場所づくりや、流山子ども食堂ネットワークと連携し、こどもの見守り体制の強化を図ります。また、引き続きこども家庭センター設置に向け、検討を進めます。

子どもを産み育てやすい環境づくり

地域子育て支援拠点事業		市内の地域子育て支援拠点事業を運営する社会福祉法人等に対し、運営費を補助します。令和6年度は、市内2箇所（北部地域・東部地域）で地域子育て支援拠点を新設しました。						
担当課	R6当初予算		R6決算見込		R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
子ども家庭課	124,952		169,036		1,980	158,465	107,896	50,569
主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標		R5実績	R6実績	R7目標
地域子育て支援センターの施設数（箇所）	11	13	15	職員に気兼ねなく相談ができ、子育てに必要なサポート体制があると回答した割合（％）		82.6	79.9	85.0
地域子育て支援センターの利用者数（人）	42,114	41,722	44,000					
令和6年度の取組みと評価・改善点				令和7年度の現状・課題・取組み				
・取組 地域子育て支援拠点における事業の実施状況を確認する際の指導項目について、検討を進めました。				・現状 令和7年度についても、引き続き市内の地域子育て支援拠点事業を運営する社会福祉法人等に対し、運営費を補助します。また市内2箇所において必要とされる地域において、地域子育て支援拠点を新設します。				
・評価 地域子育て支援拠点における事業の実施状況を確認する際の指導項目について、保育所等の監査項目を参考に、調査を進めました。				・課題 地域子育て支援拠点の運営内容等について、適切に指導できる体制の整備が必要となります。				
・課題に対する改善点 地域子育て支援拠点の運営内容等について、適切に指導できる体制を整備するため、指導監査の実施方法・内容・実施時期等について、具体的に検討を進めました。				・取組 地域子育て支援拠点の実施状況の確認方法等について、実施要綱等の作成を検討します。				

子どもを産み育てやすい環境づくり

ファミリーサポートセンター支援事業	ひとり親家庭等の就労の支援及び育児の負担の軽減を図るために、ファミリー・サポート・センターの援助活動を利用した場合に、その費用の一部を助成します。令和3年度からは、助成対象を未就学児2人以上の多胎児を養育する方にも拡大しています。								
	担当課	R6当初予算		R6決算見込		R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
	子ども家庭課	19,145		18,948		1,980	19,951	13,000	6,951
	主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標		R5実績	R6実績	R7目標
	ファミリー・サポート・センターの利用実績(件)	7,800	7,939	8,800	ファミリー・サポート・センターのマッチング件数(件)		301	269	340
	ファミリー・サポート・センターの登録者数(人)	2,432	2,473	2,600					
令和6年度の取組みと評価・改善点					令和7年度の現状・課題・取組み				
・取組					・現状				
引き続き、申請漏れがないよう、請求期限の周知を徹底しました。					令和7年度も、ひとり親家庭及び3人以上の多子養育者、未就学児2人以上の多胎児を養育する方を対象に、育児の負担の軽減を図るため、ファミリー・サポートセンターを利用した場合、その利用料の半額を助成します。				
・評価					・課題				
窓口及びホームページにて周知したことで、利用者の申請漏れを防ぐことができました。					利用助成の請求については、利用後1年以内の請求とされていることから、利用者の請求漏れが発生する可能性があります。				
・課題に対する改善点					・取組				
利用助成の請求については、利用後1年以内の請求とされていることから、利用者の請求漏れが発生する可能性があるため、窓口での口頭説明だけでなく、再提出が必要な方への文書での周知を徹底しました。					引き続き、申請漏れがないよう、請求期限の周知を徹底します。				

子どもを産み育てやすい環境づくり

育児支援等サービス事業	親族等から産前産後のサポートが受けられない妊産婦を対象に、市が委託する事業者が行う上限12時間分の育児支援や家事支援を自己負担なしで提供することにより、妊産婦の心身の負担の軽減を図るとともに、安心して出産及び育児ができる環境を確保します。							
	担当課	R6当初予算		R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
	健康増進課	6,580		6,989	6,597	6,873	2,508	4,365
	主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
	申請者数(人)	270	350	400	この地域で今後も子育てをしていきたい者の割合(%)	93.44	96.76	96.00
延べ利用時間(時間)	1,696	2,159	2,500					
令和6年度の取組みと評価・改善点				令和7年度の現状・課題・取組み				
・取組 妊婦に対しては、母子健康手帳交付時面談で事業の周知を行うとともに、電話相談や妊娠7・8か月アンケートにて親族等からのサポートが得られない方を把握した際には、事前の申請を勧めました。産婦に対しては、産後の訪問等でサポート不足の方を把握した際に本事業を再度案内し申請を促しました。				・現状 親族等からのサポートが得られず、産前産後の生活に不安を感じる妊産婦が例年と同様に一定数いる状況です。				
・評価 母子健康手帳交付時面談のほか、電話相談や妊産婦訪問、妊娠7・8か月アンケートの面談等の機会を利用して本事業を案内し、申請や利用につなげることができました。また、委託事業者と情報共有を行うこと等により、連携した支援を行うことができました。				・課題 申請をした妊産婦のうち、サービスを利用する事に対する不安や産後の忙しさ等から利用に至らない場合があるため、本事業についての具体的なイメージが持てるような案内や周知の工夫を行うこと等、利用につながる支援が必要です。				
・課題に対する改善点 母子健康手帳交付時面談で本事業の周知を行うだけでなく、電話相談や妊産婦訪問等の様々な機会を利用し、個々の状況の把握に努め、状況に応じて必要な時期に、必要な社会資源やサービス等の案内を行いました。				・取組 本事業のイメージが持てるよう、ホームページの掲載内容を工夫するとともに、利用までの手続きが困難な場合には、事業者への連絡調整を一緒に行う等、利用者の不安や負担を軽減させ、利用につながる支援を行います。				

子どもを産み育てやすい環境づくり

こども計画推進事業	すべてのこども・若者の育ちや子育てを地域全体で支え、こどもの権利を保障するための取組を進めこどもにやさしいまちづくり」の実現を目指し、流山市こども計画を推進します。							
	担当課	R6当初予算		R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
	子ども家庭課	6,833		9,096	26,388	6,190	3,300	2,890
	主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
	こどもワークショップの開催数(回)	-	1	-	こども会議の参加者数(人)	-	-	20
こども会議の開催数(回)	-	-	5	若者まちづくり事業への参加者数(人)	-	-	20	
令和6年度の取組みと評価・改善点				令和7年度の現状・課題・取組み				
・取組 令和6年度は、ニーズ調査やこどもワークショップを実施し、こどもや若者、子育て当事者等の意見を取り入れながら、流山市こども計画を策定しました。				・現状 流山市こども計画に基づき、計画の進行管理を行っています。				
・評価 アンケートでは把握できない、子育て支援施策に対するニーズを把握することができました。				・課題 こども・若者から提案のあった意見等について、こども施策への反映方法を検討します。				
・課題に対する改善点 令和6年度は、流山市こども計画の策定にあたり、子ども・子育て会議の委員をはじめ、ニーズ調査やヒアリングなどを行い、より多くの方からの意見聴取をすることができました。				・取組 令和7年度は、高校生・大学生から施策提言をいただく、「若者まちづくり事業」を新たに始めます。				

子どもを産み育てやすい環境づくり

私立幼稚園子育てのための 施設等利用給付事業	令和元年10月からの幼児教育・保育の無償化による給付費を支給する他、要配慮児童の受け入れ促進を図るため補助金を交付 します。							
	担当課	R6当初予算		R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
	保育課	840,915		787,310	13,194	807,517	544,390	263,127
	主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
	医療的ケア児受け入れ施設数(か所)	-	-	1	要配慮児受入支援補助金対象者数(人)	-	-	123
令和6年度の取組みと評価・改善点				令和7年度の現状・課題・取組み				
・取組 幼児教育・保育の無償化による給付費を支給しました。				・現状 特別な支援が必要な児童の保護者が、希望する幼稚園に預けることができるよう受け皿を確保 する必要があります。				
・評価 子ども・子育て支援法に基づき円滑に支給することができました。				・課題 障害児や医療的ケア児等を受け入れる私立幼稚園の職員の加配や環境整備等に係る費用負担増 が課題です。				
・課題に対する改善点 幼稚園と連携し適正な支給を行いました。				・取組 職員の加配や環境整備に係る費用負担を軽減するため、既存の補助制度を拡充します。				

子どもを産み育てやすい環境づくり

妊娠・出産・子育てサポート事業	子育てなんでも相談室として、妊娠・出産・子育てまで切れ目のない支援を実施します。母子健康手帳交付時の妊婦面談により情報把握を行い作成した支援プランをもとに安心して出産・育児に臨めるよう、妊娠早期から不安や困り事についての相談に応じ、支援を行います。各種事業を実施することで、子育ての負担感や孤立感からの不安解消を図ります。								
	担当課	R6当初予算		R6決算見込		R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
	健康増進課	230,459		189,961		26,388	226,589	13,272	213,317
	主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標		R5実績	R6実績	R7目標
母子健康手帳交付時面談実施率(%)	100	100	100	この地域で今後も子育てをしていきたい者の割合(%)		93.44	96.76	98.00	
				育てにくさを感じた時に対処できる親の割合(%)		79.46	80.73	84.00	
令和6年度の取組みと評価・改善点				令和7年度の現状・課題・取組み					
・取組				・現状					
産後ケア事業の対象者を拡充する等の支援の強化を図りました。また、妊産婦に対し各種の社会資源を案内・提供するために、情報の収集及び把握に努め、関係機関と連携して個々の状況に応じた支援を行いました。				妊産婦が支援を要する要因は、産前産後のサポート不足や、周囲に知り合いのいない孤立感、初めての育児に対する不安感など様々であることから、母子健康手帳交付時面談や電話相談、また、妊娠7・8か月アンケート後の電話や面談の相談において、個々の妊産婦の状況を把握し、妊産婦に対し必要な支援を行っています。					
・評価				・課題					
産後ケア事業の利用対象者の要件を産後4か月未満から産後1年未満に拡充したことで、産後4か月以降も支援を要する産婦が本事業の利用により子育ての負担や不安の解消につながりました。また、状況把握に努め、様々な社会資源を必要とする妊産婦に対しては、関係機関と連携し必要な時期に必要な支援を行うことができました。				子育ての負担感や孤立感からの不安解消を図るため、引き続き、妊産婦の個々の状況に応じた社会的資源の提供や支援を行う必要があります。また、産後ケアでは対象者の拡充に伴い、利用者の受け皿となる事業者の確保に努める必要があります。					
・課題に対する改善点				・取組					
妊産婦が支援を要する要因は様々であり、個々の状況に応じた支援を行うため、面談や電話相談等の機会を利用して状況把握に努め、必要な支援を行いました。				産後ケア事業では利用料の一部減額を実施する等の支援の強化を図ります。また、産後ケア実施施設や新規開院の産院・助産院等に本事業の説明を行い、事業者の確保に努めます。妊産婦に対しては、各種の社会資源を案内・提供するために、情報の収集及び把握に努め、関係機関と連携し、引き続き個々の状況に応じた支援を行います。					

保育サービスの充実

送迎保育ステーション事業	流山おおたかの森駅前と南流山駅前の2か所の送迎保育ステーションから市内全域の保育所へ児童を送迎し、待機児童の解消及び児童の送迎に係る保護者の負担軽減を図ります。								
	担当課	R6当初予算		R6決算見込		R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
	保育課	99,010		98,380		660	98,525	49,782	48,743
	主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標		R5実績	R6実績	R7目標
	送迎保育ステーションの設置数(か所)	2	2	2	延べ利用数(人)		16,824	16,290	17,000
送迎バスの台数(台)	7	7	7	待機児童数(翌年度4月1日時点)(人)		-	-	-	
令和6年度の取組みと評価・改善点				令和7年度の現状・課題・取組み					
・取組 流山おおたかの森駅前及び南流山駅前に送迎保育ステーションを設置し、バス7台で市内全域の保育所へ児童を送迎することにより、待機児童の解消及び児童の送迎に係る保護者の負担を軽減しました。				・現状 待機児童がゼロの状況を維持していますが、本事業が無ければ保育所への通所が難しい児童は存在しているため、引き続き事業が必要です。					
・評価 本事業の実施により、増え続ける保育需要に対応するとともに保護者の送迎に係る負担軽減を図りました。				・課題 引き続き安全・安心な移送の確保と保護者の送迎における負担軽減が課題となります。					
・課題に対する改善点 待機児童がゼロの状況になっているものの、引き続き一定数の利用が見込まれるため、安全・安心な移送の確保と保護者の送迎に係る負担軽減に努めました。				・取組 昨年と同様に市内2か所の送迎保育ステーションを起点とし、バス7台で市内全域の保育所へ児童を送迎します。					

保育サービスの充実

病児保育事業	保育所等に通所中の児童が、病期中・病気回復期において集団保育が困難な期間に、当該児童の一時的な預かりを行います。								
	担当課	R6当初予算		R6決算見込		R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
	保育課	67,723		67,712		660	69,247	31,490	37,757
	主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標		R5実績	R6実績	R7目標
	病児及び病後児保育実施園数(園)	3	3	3	利用者数(年度ごと延人数)(人)		531	613	600
令和6年度の取組みと評価・改善点				令和7年度の現状・課題・取組み					
・取組 病気の状態(回復期も含む)の児童を一時的に預かることで、保護者の子育てと就労の両立を支援しました。				・現状 新型コロナウイルス感染症の影響による利用制限を令和5年度より解除したことや制度周知を図ったことにより、急な病気への備えとして利用に関する問い合わせが増加しています。					
・評価 新型コロナウイルスによる制限を解除し、制度の周知を図ったことにより、前年度と比較して利用者数が約15%増加しました。				・課題 利用者は増加傾向にあるが、令和5年度のアンケートの際は、約20%の方が制度そのものを認知していない状況であったことからより一層の制度周知が求められると考えます。					
・課題に対する改善点 ながれやま子育てちゃんねる等、子育て世代に情報が届きやすい媒体を活用するなど、制度の周知を図りました。				・取組 ホームページ、SNS、紙媒体など、それぞれの特性に応じた効果的な周知方法を研究していきます。					

保育サービスの充実								
保育所改修事業	老朽化している公立保育所5施設の長寿命化と入所児童や職員が安全かつ快適に保育できるよう施設改修を実施します。							
	担当課	R6当初予算		R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
	保育課	19,000		15,455	1,320	10,692	8,500	2,192
	主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
	改修箇所数(箇所)	2	2	2	公立保育所利用者数(4月1日)(人)	551	548	600
令和6年度の取組みと評価・改善点				令和7年度の現状・課題・取組み				
・取組 老朽化した空調機について、計画に沿って更新しました。				・現状 引き続き、老朽化した施設整備を行う必要があります。				
・評価 平和台保育所及び向小金保育所の老朽化した空調機を更新し、安全かつ快適な保育ができる環境整備が図られました。				・課題 保育室のロッカー等が老朽化しており、児童や職員が怪我をする恐れがあります。				
・課題に対する改善点 児童が安心安全な環境下で保育を受けられるよう、夏を迎える前に空調機を更新しました。				・取組 児童が安全安心な環境下で保育を受けられるよう施設整備を行います。				
保育サービスの充実								
私立保育所等運営補助事業	保育士の確保や保育の質の向上を図るため、認可保育施設を設置運営する社会福祉法人等に対し補助金を交付します。							
	担当課	R6当初予算		R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
	保育課	2,719,521		2,918,088	19,791	2,920,439	813,913	2,106,526
	主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
	補助施設数(件)	96	98	98	待機児童数(翌年度4月1日時点(人))	-	-	-
令和6年度の取組みと評価・改善点				令和7年度の現状・課題・取組み				
・取組 新たに要配慮児童受入促進事業を新設し、認可保育施設の運営を補助しました。				・現状 児童が保育中に微熱を出すなど「体調不良」となった場合に、看護師による安心かつ安全な体制確保と保健的な対応等ができるよう、看護師等の配置の促進を図る必要があります。				
・評価 実績報告書を審査し、適正に補助金の交付を行いました。				・課題 看護師等の配置に係る認可保育施設運営法人の費用負担増が課題です。				
・課題に対する改善点 重度障害児や医療的ケア児の受入に当たり、施設や備品等の整備をするための補助を行いました。				・取組 看護師等の配置の促進を図るため、新たに病児保育事業(体調不良児型)を新設し、人件費の一部を補助します。				
保育サービスの充実								
私立保育所整備補助事業	保育所の受入児童数の増加等を図るため、市内に認可保育施設を整備する事業者に対して費用の一部を補助します。							
	担当課	R6当初予算		R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
	保育課	507,179		208,642	13,194	437,842	312,313	125,529
	主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
	整備箇所数(か所)	3	-	2	待機児童数(翌年度4月1日時点(人))	-	-	-
整備により増加した定員数(人)	138	-	160					
令和6年度の取組みと評価・改善点				令和7年度の現状・課題・取組み				
・取組 認可保育施設の運営法人と協議をし、認可保育施設の修繕を進めました。				・現状 就学前児童数や認可保育施設への申込みの実績を踏まえ、区域毎の保育の必要量を精査した上で、必要な地域に保育の受け皿を確保する必要があります。				
・評価 国の交付金を活用し、認可保育施設の大規模修繕を進めました。				・課題 北部地域の保育需要の増加が見込まれます。				
・課題に対する改善点 安全な保育を提供するために、老朽化した認可保育施設の大規模修繕に係る補助を行いました。				・取組 北部地域の認可保育施設整備に係る補助を行います。				

学童クラブの充実

学童保育運営事業	就労等の理由により、放課後家庭内で保育の困難な小学校児童を対象に、放課後の遊びや生活の場を提供し、健全育成を図ります。						
担当課	R6当初予算		R6決算見込		R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源
教育総務課	214,609		207,391		17,227	269,219	162,641
主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標		R5実績	R6実績
研修開催件数(件)	2	2	2	放課後児童支援員へ処遇改善のために支払った額(千円)		57,469	67,720
				学童クラブの延べ利用人数(人)		39,025	44,569
							49,026
令和6年度の取組みと評価・改善点				令和7年度の現状・課題・取組み			
・取組 支援員や補助員に対する研修や処遇改善を通して、学童クラブ運営の質の向上に取り組みました。				・現状 学童クラブの利用者は増加傾向にあり、利用者のニーズも多様化しています。			
・評価 1～2年目の支援員等を対象とした初任者研修と、配慮を要する児童への関わり方についての研修を実施し、支援員等のスキルアップを図りました。				・課題 ニーズの多様化に応えるため、更なる研修の必要があります。また、利用者数の増加に対応するため、支援員等を安定的に確保する必要がある、継続的な処遇改善を実施する必要があります。			
・課題に対する改善点 研修内容について、事前に法人から要望を聞いたことで効果的な研修を行うことができました。また、支援員等の安定的な確保に資するため、継続して処遇改善を行いました。				・取組 引き続き、支援員等に対する必要な研修の実施と、処遇改善を通して、学童クラブ運営の質の向上に取り組みます。			

学童クラブの充実

学童クラブ施設整備事業	児童数の増加に対応するため、おおぐろの森小学校区学童クラブの増設工事を行います。また、学童クラブを安心・安全に運営するための施設整備を進めます。						
担当課	R6当初予算		R6決算見込		R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源
教育総務課	30,403		30,349		6,597	187,942	148,866
主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標		R5実績	R6実績
学童クラブの整備後の定員数(人)	3,748	3,748	3,748	待機児童数(3月末)(人)		-	-
学童クラブの整備後の施設数(施設)	39	39	39				
令和6年度の取組みと評価・改善点				令和7年度の現状・課題・取組み			
・取組 荒天時に水がたまりやすい箇所があることから、東小学校区学童クラブにおいて排水施設整備工事を実施しました。				・現状 おおぐろの森小学校区において、児童が増加していることから、学童クラブ増設工事が必要な状態です。			
・評価 運営上、支障をきたしていた排水問題が解消できました。				・課題 学童クラブの運営に支障がないように、おおぐろの森小学校区学童クラブ増設工事を行う必要があります。			
・課題に対する改善点 学童クラブの運営に支障がないように、関係機関と調整をとり、東小学校区学童クラブにおける排水施設の整備工事を予定どおり実施することができました。				・取組 令和9年度の供用開始に向け、おおぐろの森小学校区学童クラブ増設工事を実施します。			

養育環境への配慮

ひとり親家庭等生活向上事業	こどもの貧困の連鎖を防止するため、生活困窮者世帯の中学校3年生のこどもが学習塾へ通えるよう支援します。令和3年度からは、助成対象を中学校3年生のみから中学校2年生も対象とし、範囲を拡大しています。また、令和7年度からは、助成対象に中学校1年生を追加しました。						
担当課	R6当初予算		R6決算見込		R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源
子ども家庭課	60,086		54,127		2,639	76,139	57,104
主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標		R5実績	R6実績
利用者数(人)	120	115	150	学習の習慣がついたと回答した児童数(%)		52.17	61.76
協力塾数(件)	67	70	75	希望通りの高校に進学できたと回答した児童数(%)		60.87	71.43
							90.00
令和6年度の取組みと評価・改善点				令和7年度の現状・課題・取組み			
・取組 報告書等の簡素化に努めるとともに、積極的に市内学習塾に対し、当該事業への協力を呼び掛けました。				・現状 こどもの貧困の連鎖を防止するため、生活困窮者世帯の中学生のこどもが学習塾に通えるよう支援します。また、夏期期間及び冬期期間の講習についても、支援しています。			
・評価 市内学習塾に対し、当該事業への協力を積極的に呼び掛けるとともに、当該事業の理解促進に努めました。				・課題 利用できるこどもを増やすために、協力塾を増やします。			
・課題に対する改善点 利用できるこどもを増やすために、協力塾への丁寧な説明を行い、塾数の維持・増加に努めました。				・取組 報告書等の簡素化に努めるとともに、積極的に市内学習塾に対し、当該事業への協力を呼び掛けていきます。			

養育環境への配慮

要保護児童対策事業	要保護児童等の早期発見や適切な保護を図るため、児童相談所、警察、医療機関などの関係機関等との情報共有と連携を強化し、こどもや家庭に迅速・適切なサポートを図ります。								
	担当課	R6当初予算		R6決算見込		R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
	子ども家庭課	12,127		10,652		105,552	21,268	8,188	13,080
	主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標		R5実績	R6実績	R7目標
	安全確認件数(%)	99	99	99	研修アンケートによる参加者の理解度(%)		100	100	100
研修開催回数(回)	2	3	3						
令和6年度の取組みと評価・改善点				令和7年度の現状・課題・取組み					
・取組 こどもや保護者の様々なニーズに即した支援を実施するため専門職を配置するとともに、研修会等への積極的な参加により、職員の相談支援技術等の向上を図りました。地域でのこどもの見守りや支援が適切に行われるよう、関係機関との情報共有・連携のための研修会と適宜個別支援会議を開催しました。				・現状 児童虐待通告は増加傾向にあり、こどもの安全を守るための緊急介入と虐待の予防的な介入とを迅速かつ適切に対応する必要があります。					
・評価 こどもやその家庭の見守りや支援が迅速かつ適切に行えるように、こどもに接する機会の多い保育園や学校関係等の職員向けに連携強化のための研修会を実施しました。また、こどもや家庭への様々なニーズに対する支援を迅速に行えるよう、社会福祉士・保健師等の専門職を増員し、研修等へ積極的に参加して相談支援技術の向上に努めました。				・課題 増加する児童虐待通告に迅速かつ適切に対応するために、職員の相談支援技術等の向上及び地域でのこどもの見守りや支援が適切に行われるために関係機関との情報共有・連携の強化を図っていく必要があります。					
・課題に対する改善点 増加する児童虐待通告に迅速かつ適切に対応しこどもの権利を守るとともに、家庭のニーズに即した支援を提供するため、専門職を増員し、研修会への参加等により職員の相談支援技術等の向上を図りました。				・取組 こどもや家庭への様々なニーズに即した支援が行えるよう専門職を配置するとともに、研修会等への積極的な参加により、職員の相談支援技術等の向上を図ります。地域でのこどもの見守りや支援が適切に行われるよう、引き続き関係機関との連携強化を進めるとともに、子ども食堂と連携し、地域の見守り体制を強化していきます。					

養育環境への配慮

離婚後の生活や子育てに関する不安を解消するため、養育費等の取り決めに記載した公正証書の作成費用や裁判外紛争手続きに係る費用の助成を行います。

こどものための養育費確保等支援事業	担当課		R6当初予算		R6決算見込		R6職員給与費(目安)		R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
	子ども家庭課		0		0		0		240	120	120
	主な活動指標		R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標			R5実績	R6実績	R7目標
	公正証書作成費用の助成件数(件)		-	-	7						
	裁判外紛争手続費用の助成件数(件)		-	-	62						
	令和6年度の取組みと評価・改善点					令和7年度の現状・課題・取組み					
・取組 令和6年度は事業の実施がありませんでした。					・現状 公正証書の作成費用の助成や、弁護士があっせん人となり養育費等の協議を行う裁判外紛争手続きに係る費用の助成を行います。						
・評価 令和6年度は事業の実施がありませんでした。					・課題 事業開始年度であるため、事業の周知が必要となります。						
・課題に対する改善点 令和6年度は事業の実施がありませんでした。					・取組 窓口や電話等での相談の際に、当該事業についてご案内するとともに、チラシ等を作成し、周知に努めます。						

青少年の健全育成の促進

青少年相談事業		青少年やその保護者が一人で悩むことがないよう、青少年専門相談員による電話及び相談室での相談を充実します。						
担当課	R6当初予算		R6決算見込		R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
文化芸術・生涯学習課	6,546		6,532		0	7,393	0	7,393
主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標		R5実績	R6実績	R7目標
相談件数(件)	61	80	-					
令和6年度の取組みと評価・改善点				令和7年度の現状・課題・取組み				
・取組 スキットメールの活用やポスターを作成し、相談室の周知に努めました。また、県や関連機関が開催する研修会へ積極的に参加し、青少年専門相談員の相談力の向上に努めました。				・現状 平日、月曜日から金曜日の午前9時30分から午後4時30分まで相談室を開設し、これに加え6回平日の時間外に特別相談窓口を開設しています。また、スキットメールの活用により、相談件数が増加傾向にあります。				
・評価 スキットメールを活用し小・中学校の保護者に直接情報提供を行った結果、相談件数が前年度よりも増加しました。				・課題 より多くの市民に利用していただけるよう、引き続き相談しやすい雰囲気づくりと周知の必要があります。また、相談内容に応じて、適切な相談窓口への案内ができるよう、関係機関との連携を強化する必要があります。				
・課題に対する改善点 より多くの市民に利用していただけるよう、相談しやすい雰囲気づくりと周知を行いました。また、相談内容に応じた窓口を適切に案内できるよう、青少年専門相談員の相談力を向上させました。				・取組 引き続き、学校や他機関との連携を図ることで、きめ細やかな対応に努めます。また、広報ながれやま、市ホームページに加え、相談室だよりなどを積極的に活用し、通常の相談や特別相談窓口の周知に努めます。				

主管部局 学校教育部

施策の目的 学びに向かう力と自立する子どもを育む



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R4実績	R5実績	R6実績	単位	目指す方向
全国学力・学習調査平均正答率（目指す方向：全国平均、県平均を上回る）	全国学力・学習状況調査（文部科学省） 小学校、中学校	67.0 58.3	68.0 60.3	69.0 59.0	%	全国平均、 県平均を上 回る
児童・生徒数	学校基本調査（文部科学省） 児童、生徒 5月1日時点	12,979 4,915	13,512 5,121	13,909 5,285	人	-
いじめの認知件数	いじめの教師認知件数調査（市） 小学校、中学校	4,954 475	4,427 407	4,381 353	件	↓

令和6年度の取組みと評価・改善点	令和7年度の現状・課題・取組み
・取組内容 いじめアンケート等の実施を通じて、いじめの積極的な認知と状況把握を図るとともに、小学校、中学校においていじめについての特別授業を行うほか、教職員に対する研修の実施を通じて、学校現場におけるいじめ対応の理解向上に努めました。全国学力・学習状況調査については、教務主任、研究主任を対象に分析や活用に関する研修会を開催したり、学校間でカリキュラムについて情報共有を行ったりしました。	・現状 いじめの認知件数が減少傾向にある中、重大事態に至る件数は依然横ばいで推移していることから、認知したいじめが重大化・深刻化・長期化しないよう、早期発見と早期対応を徹底していく必要があります。令和7年度は、国語、算数・数学の他に、理科の調査も行われます。
・評価 いじめをはじめ、児童生徒が抱える多様な課題に対して適切に対応するため、スクールロイヤー等の専門性の高い人材を活用しながら、児童生徒、保護者、学校への支援体制の強化に努めました。全国学力・学習状況では、小中学校共に、国語、算数、数学の平均正答率が、全国・県平均を上回りました。	・課題 いじめは初期対応が何よりも重要であるため、学校現場においていじめの未然防止と早期発見に一層努めるとともに、いじめを認知した際の対応が適切に行われるよう、教職員のいじめ対応に係る理解を深めるとともに、生徒指導力の向上を図っていく必要があります。全国学力・学習状況調査について、平均正答率の高いものの無回答率が高い解答があることから、普段の授業の中で自分の考えや意見をもって学習する必要があります。
・改善点 いじめは早期発見・早期対応が肝要であることから、小さなトラブルであってもいじめの根源を考え、積極的に認知を行うとともに、被害児童生徒と保護者に寄り添った対応を心掛け、トラブル解消に努めました。全国学力・学習状況調査については無回答率が高いことから、主体的・対話的で深い学びに向けて、指導主事による授業参観や研修を行いました。	・取組内容 いじめ事案が重大化・深刻化・長期化しないよう、学校を支援していきます。また、学校だけでは解決が困難な事案への対応に当たっては、生徒指導アドバイザーやスクールソーシャルワーカー等の専門性の高い人材を活用し、関係機関とも連携しながら解決に向け取り組んでいきます。若手教員を対象とする教師力アップ講座や、指導主事による授業参観を通して、市内小中学校の授業改善に取り組んでいきます。

確かな学力の育成

小中学校外国語教育推進事業	小中学校外国語教育の推進のために、英語に堪能で外国の文化や生活に精通した英語活動指導員及び外国語指導助手（ALT）を配置します。小学3年生から6年生までの授業で学級担任とのチームティーチングができる体制を整え、教育内容の充実と向上を図ります。中学校には、全10中学校に1名ずつALTを配置します。（令和6年度から小中学校の同事業を統合し、「小中学校外国語教育推進事業」としました。令和5年度までは、「小学校英語活動推進事業」の実績が記載されています。）								
	担当課	R6当初予算		R6決算見込		R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
	指導課	108,406		107,360		6,597	109,586	0	109,586
	主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標		R5実績	R6実績	R7目標
	小中学校ALT配置数（人）	10	20	20	ALT等の活用状況（％）		98.0	75.8	78.0
英語活動指導員の指導時間の合計（時間）	11,620	12,180	12,635						
令和6年度の取組みと評価・改善点				令和7年度の現状・課題・取組み					
・取組 授業参観や研修会を通じて、ALT等の効果的な活用を図りながら、学習のねらいに即した質の高い授業づくりに取り組みました。				・現状 小学校では、英語活動指導員スーパーバイザーの授業参観等をおして、市内統一した授業の型ができつつあり、活動が充実してきました。中学校では、ALTとの生きたコミュニケーションを通じて聞く、話す力を伸ばしました。					
・評価 小学校では、英語活動指導員スーパーバイザーの授業参観等をおして、市内統一した授業の型ができつつあり、活動が充実してきました。中学校では、ALTとの生きたコミュニケーションを通じて聞く、話す力を伸ばしました。				・課題 小学校では、ALT等と連携しながら、学習のねらいに即した授業づくりを行うことが課題です。中学校では、ALTの効果的な活用を図るとともに、小中連携の視点を持ち、質の高い授業づくりを行うことが課題です。					
・課題に対する改善点 学習課題に対する適切な活動の設定と評価についての理解が深まりました。				・取組 授業参観や研修会を通じて、ALT等の効果的な活用を図りながら、学習のねらいに即した質の高い授業づくりに取り組んでいます。また、新規でALT等として勤務される職員と共に、市内統一した授業の型が継続できるよう、研修を積み重ねています。					

確かな学力の育成

小学校教育指導運営事業	児童の読書活動推進のため、学校図書館の充実に努めます。また、学校図書館を運営していくために必要な専門性や技術を備えた学校図書館司書を配置します。探究的な学習を進めるため、タブレット端末から閲覧可能なインターネット百科事典を導入します。								
	担当課	R6当初予算		R6決算見込		R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
	指導課	33,662		33,048		6,597	38,513	0	38,513
	主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標		R5実績	R6実績	R7目標
	学校図書館司書配置数(1人あたり担当校数)(校)	1.5	1.3	1.2	小学校図書貸出冊数(R7.3月)(冊)		320,000	475,051	498,803
令和6年度の取組みと評価・改善点					令和7年度の現状・課題・取組み				
・取組 図書の充実や学校図書館司書の研修等の充実を図ることで、学校図書館の活用率や貸出冊数のさらなる増加を目指しました。					・現状 図書館司書の増員や、学校図書館の環境整備を進めることにより、充実した学校図書館教育を目指しています。				
・評価 インターネット百科事典の活用事例研修を各校のICT教育推進リーダーに実施した結果活用が向上しました。また、R1グランプリ等の実施により、1人当たりの貸出冊数が増加しました。					・課題 さらなる読書推進や探究的な学習の実現を目指し、図書の充実、学校図書館司書の増員を図る必要があります。				
・課題に対する改善点 貸出冊数を増加させるため、さらなる読書推進や探究的な学習の実現を目指し、図書の充実を図りました。					・取組 学校図書館の充実や学校図書館司書の研修等の充実を図ることで、学校図書館の活用率や貸出冊数のさらなる増加を目指します。				

確かな学力の育成

中学校教育指導運営事業	生徒の読書活動推進のため、学校図書館の充実に努めます。また、学校図書館を運営していくために必要な専門性や技術を備えた学校図書館司書を配置します。探求的な学習を進めるため、タブレット端末から閲覧可能なインターネット百科事典を導入します。						
担当課	R6当初予算		R6決算見込		R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源
指導課	19,977		19,273		6,597	21,204	0
主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標		R5実績	R6実績
学校図書館司書配置数(1人あたり担当校数)(校)	1.5	1.5	1.4	中学校図書貸出冊数(R7.3月)(冊)		35,000	39,363
令和6年度の取組みと評価・改善点				令和7年度の現状・課題・取組み			
・取組 図書の実質や学校図書館司書の研修等の充実を図ることで、学校図書館の活用率や貸出冊数のさらなる増加を目指しました。				・現状 学校図書館司書増員等、より充実した学校図書館教育を目指しています。			
・評価 前年度比で貸出冊数を増加させることができました。未読者も一定数いるため、学校図書館の活用促進を進めました。				・課題 未読者への対応や学校図書館の環境充実を図る必要があります。			
・課題に対する改善点 貸出冊数を増加させるため、読書推進や探究的な学習の実現を目指し、図書の充実、学校図書館司書の増員を図りました。				・取組 学校図書館環境の充実や学校図書館司書の研修等の充実を図ることで、学校図書館の活用率向上、未読者の減少を目指します。			

確かな学力の育成

幼児教育支援センター運営事業	関連機関との連携を図り、幼児教育から学校教育への滑らかな移行を支援するとともに、幼児教育相談の充実を図り、家庭教育や園における就学前教育を推進します。						
担当課	R6当初予算		R6決算見込		R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7一般財源
指導課	11,720		10,889		13,194	14,128	0
主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標		R5実績	R6実績
巡回相談件数(件)	21	66	70	「幼保小連携の日」参加人数(人)		-	-
令和6年度の取組みと評価・改善点				令和7年度の現状・課題・取組み			
・取組 巡回相談の対象を3歳から5歳児を担当する幼児教育・保育施設の職員に拡大して、幼児教育支援センターの職員及びスクールカウンセラーを園に派遣し、教育・保育内容及び環境構成について助言を行ってきました。				・現状 「架け橋期カリキュラム推進会議」での議論を踏まえ、流山市版架け橋期カリキュラム作成の手引き(初版)」を作成して、市内の全幼稚園・保育所(園)・認定こども園及び小学校に配付しました。			
・評価 広報の方法や仕組みを変更し、3期にわたり希望を募り、複数回の相談を可能としたことで、相談件数が大きく伸びました。その中で、幼児の実態に合った教育・保育や支援方法等について、幼児教育・保育施設の職員とともに考えることができ、幼児教育・保育の質の向上に寄与することができました。				・課題 これまでも、幼保小の職員の合同研修や見学会等は行ってきましたが、各担当職員のみでの交流にとどまっていた。今後、市教育委員会としても、幼保小連携の体制構築を支援していく必要があります。			
・課題に対する改善点 幼児教育・保育施設からのつながりある教育の実現については、小学校教育との連携が不可欠です。幼保小の教職員が架け橋期(5歳児から小学校1年生)の教育について話し合うための体制を構築できるよう、公私や施設類型の垣根を超えた各施設の代表者による「架け橋期カリキュラム推進会議」を立ち上げました。				・取組 幼保小連携の必要性について、「流山市版架け橋期カリキュラム作成の手引き」を活用しながら各種研修会で啓発するとともに、市内の全小学校で「幼保小連携の日」を開催し、顔の見える関係性の構築を図っていきます。			

確かな学力の育成

地域による学校支援事業	中学校区に地域学校協働本部を設置し、各学校に配置したコーディネーターが、中学校区の学校(小学校2校または1校、中学校1校)とボランティアを希望する地域住民との調整を図りながら、学校支援ボランティアを派遣し、児童生徒の教育活動の充実を図ります。						
担当課	R6当初予算		R6決算見込		R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7一般財源
指導課	9,534		8,424		13,194	9,503	5,566
主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標		R5実績	R6実績
市内各中学校区本部設置数(校)	10	10	10	地域による学校支援年間参加延べ人数(1月まで)(人)		58,550	60,000
令和6年度の取組みと評価・改善点				令和7年度の現状・課題・取組み			
・取組 学校や地域の実態を把握している学校運営協議会委員を任命することで、地域の特色を生かした実現可能な取組への協議を実施しました。				・現状 令和7年度に全10中学校区への学校運営協議会制度(コミュニティ・スクール)の導入が完了したことにより、学校の実情や地域の特色を生かした活動を目指しています。			
・評価 各学校に配置したコーディネーターが中心となり、学校とボランティアを希望する地域住民との調整を図りながら、学校支援ボランティアを派遣し、児童生徒の教育活動の充実を図ることができました。				・課題 児童生徒が主体となって学校生活を送るためには、活動や協議が必要であるため、そのニーズに合った活動やボランティアを設定することに課題があります。			
・課題に対する改善点 学校運営協議会において、学校の実情や地域の特色を生かした熟議というところまで進まなかったため、それを踏まえた持続可能な活動の実現に努めました。				・取組 児童生徒のさらなる学校生活の充実を目指し、協議会やボランティア活動を実施するうえで、そのニーズを生かした具体的な活動となるように実態把握及び持続可能な活動の実現に努めていきます。			

確かな学力の育成

学校水泳指導等支援事業	児童の体育の授業における水泳指導について、業務委託することによりプール施設、指導業務、移動手段を確保し、円滑な水泳指導に資することを目的として実施します。								
	担当課	R6当初予算		R6決算見込		R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
	指導課	47,123		47,115		6,597	53,895	0	53,895
	主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標		R5実績	R6実績	R7目標
	民間委託実施校数(校)	7	13	13	一人当たりの実施回数(回)		3	3	3
令和6年度の取組みと評価・改善点				令和7年度の現状・課題・取組み					
・取組 天候に左右されず実施でき、インストラクターの専門的な指導を受けられるという民間委託のメリットを活用し、こどもたちの充実した学習につなげていきました。				・現状 当事業は4年目となり軌道に乗ってきたため、こどもたちも教職員も移動や授業においてスムーズに実施できています。					
・評価 民間事業所のインストラクターからの専門的な指導を受けられたことによって、泳力技術の向上につながりました。				・課題 一つの民間事業所に複数校を委託する場合もあるため、期間の観点から学校の要望に応えることが難しい状況にあります。					
・課題に対する改善点 各学校からより近い委託業者を開拓するなどして、移動時間の短縮に努めました。				・取組 新たな民間事業所を開拓することも検討し、学校のニーズに合った事業を実施していきます。					

教育環境の整備

I C T 学習空間整備事業	児童生徒の情報活用能力の育成を図るために、GIGAスクール構想に伴うタブレット端末、校内ネットワーク環境及びその他ICT機器を整備します。								
	担当課	R6当初予算		R6決算見込		R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
	指導課	409,710		479,121		6,597	378,076	0	378,076
	主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標		R5実績	R6実績	R7目標
	市内児童・生徒用のコンピュータ数(台)	18,471	19,185	19,820	教育用コンピュータ1台当たりの児童生徒数(人/台)(人)		1	1	1
令和6年度の取組みと評価・改善点					令和7年度の現状・課題・取組み				
・取組 ICT教育推進リーダー研修会を年度内に3回実施しました。また、通常のICT支援員に加え、課題解決までの時間短縮を狙い、オンラインのICT支援員を配置しました。ICT環境整備として、電子黒板を八木中学校、西初石中学校に整備し、活用研修を実施しました。					・現状 若年層の教職員や他市からの異動者が増えています。各校のICT教育推進リーダーの育成は引き続き必要です。				
・評価 各校の効果的なICT活用実践例を研修会で共有し、各校で広げるだけでなく、講師を招聘し、専門的な活用法の理解を深めました。オンラインのICT支援員の配置により、相談がしやすい環境を構築しました。電子黒板を設置した学校は、学習指導等の活用が進みました。					・課題 プログラミング教育や校務支援アプリといった本市のICT教育の実情や活用方法について理解を深める必要があります。				
・課題に対する改善点 ICT機器を活用するだけでなく、効果的な活用方法やICT教育の目的に目を向け、理解を深めました。					・取組 プログラミングや校務支援アプリ等のニーズに合ったICT研修を夏休み中に企画しています。令和7年度もICT教育推進リーダー研修会の実施を予定しています。				

教育環境の整備

小学校設備改修事業	小学校施設において、経年による設備の損耗箇所を改修し、教育環境の向上を図ります。								
	担当課	R6当初予算		R6決算見込		R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
	学校施設課	28,371		34,513		10,556	3,866	3,866	0
	主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標		R5実績	R6実績	R7目標
	設備点検による不具合数(件)	-	5	4	改修工事による是正率(%)		-	100	100
令和6年度の取組みと評価・改善点				令和7年度の現状・課題・取組み					
・取組 発注者、施工者及び学校と協議の上、改修工事を進めました。				・現状 西深井小学校消火ポンプ、長崎小学校揚水ポンプ及び避難器具に不具合が生じています。					
・評価 各工事において、夏休み中に工事を終わらせ、9月より供用開始することができました。				・課題 西深井小学校消火ポンプ、長崎小学校揚水ポンプ及び避難器具の不具合箇所について早急に対応する必要があります。					
・課題に対する改善点 学校運営に支障がないよう、調整を行いながら改修工事を行いました。				・取組 国庫補助を活用し、令和7年度予算を一部令和6年度に前倒しして実施することにより、早期に不具合を解消します。					

教育環境の整備								
中学校設備改修事業	中学校施設において、経年による設備の損耗箇所を改修し、教育環境の向上を図ります。							
	担当課	R6当初予算		R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
	学校施設課	59,890		59,582	7,257	4,015	4,015	0
	主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
	設備点検による不具合件数(件)	-	5	3	改修工事による是正率(%)	-	100	100
令和6年度の取組みと評価・改善点				令和7年度の現状・課題・取組み				
・取組 発注者、施工者及び学校と協議の上、改修工事を進めました。				・現状 東深井中学校の受水槽や給水系統に不具合が生じています。				
・評価 夏休み、冬休みに工事を集中させ、学校運営を止めることなく工事を完了させました。				・課題 東深井中学校の受水槽や給水系統の不具合箇所について早急に対応する必要があります。				
・課題に対する改善点 学校運営に支障がないよう、調整を行いながら改修工事を行いました。				・取組 国庫補助を活用し、令和7年度予算を一部令和6年度に前倒して実施することにより、早期に不具合を解消します。				

教育環境の整備								
小学校校舎等改修事業	小学校施設において、経年による建物の損耗により、機能低下が発生している箇所を改修し、教育環境の向上を図ります。							
	担当課	R6当初予算		R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
	学校施設課	14,515		218,705	15,174	0	0	0
	主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
	ロッカー改修を要する教室数(室)	304	267	228	ロッカー改修教室数(室)	42	37	39
令和6年度の取組みと評価・改善点				令和7年度の現状・課題・取組み				
・取組 複数年事業ではありますが、早期完了を目指して学校との調整を進めました。				・現状 教室ロッカーの改修は、児童不在の夏休み期間中に実施することから、実施教室数に限度があります。				
・評価 ロッカーの工事において、夏休み中に工事を終わらせ、9月より共用開始することができました。				・課題 改修を要するロッカーの全てを早期に完了させる必要があります。				
・課題に対する改善点 改修を要するロッカーの全てを、優先順位の高いものから改修を行いました。				・取組 複数年事業ではありますが、早期完了を目指して学校との調整を進めます。				

教育環境の整備								
中学校校舎等改修事業	中学校施設において、経年による建物の損耗により、機能低下が発生している箇所を改修し、教育環境の向上を図ります。							
	担当課	R6当初予算		R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
	学校施設課	0		93,918	1,980	6,108	6,108	0
	主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
	ロッカー改修を要する教室数(室)	-	-	123	ロッカー改修教室数(室)	-	-	18
令和6年度の取組みと評価・改善点				令和7年度の現状・課題・取組み				
・取組 国庫補助を活用し、西初石中学校の外壁及び屋上防水機能の劣化について早急に改修を図りました。				・現状 教室ロッカーの改修は、生徒不在の夏休み期間中に実施することから、実施教室数に限度があります。				
・評価 安全を優先し工程管理を行い、工事を遅滞なく完了させました。				・課題 改修を要するロッカー全てを早期に完了させる必要があります。				
・課題に対する改善点 早急に設計・発注を行い、外壁及び屋上防水改修工事を行いました。				・取組 複数年事業ではありますが、早期完了を目指して学校との調整を進めます。				

教育環境の整備								
給食室等改修事業		学校給食施設において、経年による建物及び設備の損耗、機能低下が発生している箇所を改修し、調理環境の向上を図ります。						
担当課	R6当初予算		R6決算見込		R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
学校施設課	0		54,733		5,938	3,707	3,707	0
主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標		R5実績	R6実績	R7目標
設備点検による不具合件数(件)	-	1	1	改修工事による是正率(%)		-	100	100
屋上・外壁改修を要する学校数	-	4	-	屋上・外壁改修工事の進捗率(%)		-	100	-
令和6年度の取組みと評価・改善点				令和7年度の現状・課題・取組み				
・取組 発注者、施工者及び学校と協議の上、改修工事を進めました。なお、令和6年度実施予定事業の全予算を令和5年度に前倒し工事を進めました。				・現状 向小金小学校グリストラップに不具合が生じています。				
・評価 屋上防水、外壁改修工事を遅滞なく完了させました。				・課題 向小金小学校グリストラップの不具合箇所について早急に対応する必要があります。				
・課題に対する改善点 食品へ雨水が混入する危険や、漏電による機器故障などの恐れがあるため、対策を行いながら改修工事を行いました。				・取組 発注者、施行者及び学校と協議の上、改修工事を進めます。				

教育環境の整備								
おおぐろの森小学校校舎増築事業		児童数の増加傾向にある「おおぐろの森小学校」について、令和9年度から増築棟の供用開始を目指します。						
担当課	R6当初予算		R6決算見込		R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
学校施設課	47,740		18,940		6,597	190,388	190,388	0
主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標		R5実績	R6実績	R7目標
				設計業務の進捗率(%)		-	60	100
				工事の進捗率(%)		-	-	10
令和6年度の取組みと評価・改善点				令和7年度の現状・課題・取組み				
・取組 諸条件を整理し、増築校舎の設計を進めました。				・現状 順調に進捗しています。				
・評価 滞りなく設計を進めました。				・課題 児童の安全を確保しながら、滞りなく工事を進める必要があります。				
・課題に対する改善点 増築校舎の規模や構造などを検討し、設計を進めました。				・取組 関係者間で密に調整を行い、安全を確保しながら円滑な事業進捗に努めます。				

教育環境の整備								
南流山第二小学校改修事業		南流山地区の児童数増加に対応するため、南流山中学校を小学校仕様へと改修して、令和6年4月から南流山第二小学校として開校しましたが、体育館のみ、中学生の活動に配慮して令和6年の夏休み期間中に改修するものです。						
担当課	R6当初予算		R6決算見込		R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
学校施設課	0		28,930		1,809	0	0	0
主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標		R5実績	R6実績	R7目標
				設計業務の進捗率(%)		-	-	-
				改修工事の進捗率(%)		90	100	-
令和6年度の取組みと評価・改善点				令和7年度の現状・課題・取組み				
・取組 体育館の改修を行いました。				・現状 令和6年度で事業は終了しました。				
・評価 夏休みを中心に工事を行い、学校と調整しながら滞りなく工事を完了させることができました。				・課題 令和6年度で事業は終了しました。				
・課題に対する改善点 バスケットゴールやステージ舞台機構の改修工事を行いました。				・取組 令和6年度で事業は終了しました。				

教育環境の整備								
担任サポート教員配置事業		学級編制において、国の学級編制標準を適用する学級に対し、担任業務をサポートする教員を配置します。						
担当課	R6当初予算		R6決算見込		R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
学校教育課	30,577		21,581		1,980	0	0	0
主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標		R5実績	R6実績	R7目標
担任サポート教員配置数(人)	9	7	-					
令和6年度の取組みと評価・改善点				令和7年度の現状・課題・取組み				
・取組 児童生徒数推計及び想定値から各学校の1学級あたりの児童・生徒数を見定め、適正な人員配置に努めました。				・現状 令和6年度で事業は終了しました。				
・評価 適正な人員配置を行うことができたことにより、児童・生徒の教育活動を十分に支援することができました。				・課題 令和6年度で事業は終了しました。				
・課題に対する改善点 令和7年度から、国の学級基準の35人学級を実施するために、児童生徒数推計値の学級数に対応する適切な人員配置を行いました。				・取組 令和6年度で事業は終了しました。				

教育環境の整備								
常盤松中学校校舎増築事業		生徒数の増加傾向にある「常盤松中学校」について、令和8年度から増築棟の供用開始を目指します。						
担当課	R6当初予算		R6決算見込		R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
学校施設課	170,403		64,558		12,438	25,740	25,740	0
主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標		R5実績	R6実績	R7目標
				設計業務の進捗率(%)		-	100	-
				工事の進捗率(%)		-	10	100
令和6年度の取組みと評価・改善点				令和7年度の現状・課題・取組み				
・取組 増築工事の基本設計及び実施設計を行いました。グラウンド面積を確保するため、プールの解体を行いました。				・現状 順調に進捗しています。				
・評価 滞りなく、設計業務及びプール解体を完了させることができました。				・課題 生徒の安全を確保しながら、工事を滞りなく進める必要があります。				
・課題に対する改善点 増築校舎の規模や構造、仕様などを検討しました。				・取組 関係者間で密に調整を行い、安全を確保しながら円滑な事業進捗に努めます。増築棟については、賃貸借契約を締結します。				

教育環境の整備								
小学校校舎等リニューアル事業		老朽化の進んだ小学校をリニューアルすることで、建て替えることなく供用を継続するものです。						
担当課	R6当初予算		R6決算見込		R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
学校施設課	0		346,129		13,194	42,878	42,878	0
主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標		R5実績	R6実績	R7目標
				江戸川台小学校リニューアル事業の進捗率(%)		2	32	64
				東小学校リニューアル事業の進捗率(%)		-	-	2
令和6年度の取組みと評価・改善点				令和7年度の現状・課題・取組み				
・取組 管理・普通教室棟及び特別教室棟の改修が完了しました。(江戸川台小学校)				・現状 順調に進捗しています。(江戸川台小学校)				
・評価 夏休みを中心に工事を行い、学校と調整しながら滞りなく予定範囲の工事を完了させることができました。(江戸川台小学校)				・課題 児童の安全を確保しながら、滞りなく工事を進捗させる必要があります。(江戸川台小学校)				
・課題に対する改善点 児童・教職員の安全を優先して工事を行いました。				・取組 関係者間で密に調整を行い、安全を確保しながら円滑な事業進捗に努めます。(江戸川台小学校)リニューアル設計に着手します。(東小学校)				

教育環境の整備							
小学校施設管理業務委託事業		小学校における学校施設管理業務を業務委託し、実施することで安定的な人員及び質の確保と直接任用に係る人件費及び事務量の軽減を図ります。					
担当課	R6当初予算		R6決算見込		R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源
学校教育課	4,046		3,339		660	12,768	0
主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標		R5実績	R6実績
学校用務員派遣(学校数)	-	2	6	学校用務員派遣(用務員人数)		-	2
令和6年度の取組みと評価・改善点				令和7年度の現状・課題・取組み			
・取組 安定的な人員及び質の確保と直接任用に係る人件費及び事務量の軽減を図り、さらなる教育環境の充実に向けた検討を進めました。				・現状 令和6年度の導入実績をもとに、令和7年度からは新たに小学校4校を委託導入するなど事業拡充を図り、さらなる教育環境の充実や教職員の働き方改革向上に努めています。			
・評価 学校施設管理業務について、安定的な人員を確保するとともに、用務業務の質的向上を図ることで、教育環境のさらなる充実や教職員の働き方改革の一助になりました。				・課題 令和7年度は既存学校への導入初年度に当たることから、学校への委託導入の効果検証を十分検証しつつ、学校からの意見等も伺いながら、今後の事業拡充に向けて、さらなる検討を進めます。			
・課題に対する改善点 学校への委託導入の効果について検証を行うとともに、委託先の人員確保が可能かどうかなどを含め、他学校への拡充を検討しました。				・取組 学校への委託導入の効果評価や、委託先の人員確保が可能かどうかなどを確認しながらさらなる委託へ切り替えなどを含め、引き続き学校の意見も伺いながら検討を前に進めます。			

教育環境の整備							
中学校施設管理業務委託事業		中学校における学校施設管理業務を業務委託し、実施することで安定的な人員及び質の確保と直接任用に係る人件費及び事務量の軽減を図ります。					
担当課	R6当初予算		R6決算見込		R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7一般財源
学校教育課	6,068		3,488		660	8,512	0
主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標		R5実績	R6実績
学校用務員派遣(学校数)	-	1	3	学校用務員派遣(用務員人数)		-	2
令和6年度の取組みと評価・改善点				令和7年度の現状・課題・取組み			
・取組 安定的な人員及び質の確保と直接任用に係る人件費及び事務量の軽減を図り、さらなる教育環境の充実に向けた検討を進めました。				・現状 令和6年度の導入実績をもとに、令和7年度からは新たに中学校2校を委託導入するなど事業拡充を図り、さらなる教育環境の充実や教職員の働き方改革向上に努めています。			
・評価 学校施設管理業務について、安定的な人員を確保するとともに、用務業務の質的向上を図ることで、教育環境のさらなる充実や教職員の働き方改革の一助になりました。				・課題 令和7年度は既存学校への導入初年度に当たることから、学校への委託導入の効果を検証しつつ、学校からの意見も伺いながら、今後の事業拡充に向けて、さらなる検討を進めます。			
・課題に対する改善点 学校への委託導入の効果について検証を行うとともに、委託先の人員確保が可能かどうかなどを含め、他学校への拡充を検討しました。				・取組 学校への委託導入の効果評価や、委託先の人員確保が可能かどうかなどを確認しながらさらなる委託へ切り替えなどを含め、引き続き学校の意見も伺いながら検討を前に進めます。			

教育環境の整備							
不登校児童生徒支援事業		バーチャル空間や公的施設等を居場所とした不登校児童生徒への支援を実施します。					
担当課	R6当初予算		R6決算見込		R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7一般財源
指導課	0		4,631		6,597	5,786	1,928
主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標		R5実績	R6実績
長期欠席児童生徒率(市内小中学校)	5.27	4.19	-	フレンドステーション利用者数(定期的な利用者数)		45	39
不登校児童生徒率(市内小中学校)	2.53	2.21	-	教育相談件数(保護者、児童生徒の総計)		2,249	2,317
令和6年度の取組みと評価・改善点				令和7年度の現状・課題・取組み			
・取組 令和6年度は新たな取り組みとしてオンラインの教育支援センターを立ち上げました。また、校内教育支援センターを八木北小学校に設置し、児童生徒の新たな居場所づくりに努めました。また、教育支援センターの機能を強化できるよう、有識者や民間支援団体、公民館等公的機関の人を交えて協議会を行いました。				・現状 令和6年度については不登校児童生徒数の減少傾向がみられたものの、引き続き不登校児童生徒の居場所を拡充していく必要があります。			
・評価 教育支援センターや校内教育支援センターの機能を充実させ、こどもの居場所づくりに努めました。令和6年度は前年度よりも不登校児童生徒率が減少しました。				・課題 不登校児童生徒の居場所として、様々な選択肢を提示できるよう、教育支援センターのさらなる充実や、民間支援団体との連携を図る必要があります。			
・課題に対する改善点 昨年度からの改善点として不登校児童生徒に対しオンラインフレンドという新しい居場所づくりに努めました。また、専門機関につながっていない児童生徒の実態を把握し、支援につなげていくための手立ての検証をしました。				・取組 教育支援センターや校内教育支援センターの機能を充実させていきます。児童生徒が学校以外の居場所を見つけるきっかけとなるよう、バーチャル空間による不登校児童生徒への支援をさらに充実させていきます。			

児童・生徒の安全確保と健康増進

小中学生専用なやみホットライン相談事業	いじめや学校生活で悩む児童生徒からの相談に、専門相談員が電話やメールで対応し、いじめの早期発見・早期解決を図ります。また、中学生には「いじめ報告・相談アプリSTANDBY」を活用し、相談環境の充実に努めます。							
	担当課	R6当初予算		R6決算見込	R6職員給与と費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
	指導課	7,211		6,500	3,959	8,244	0	8,244
	主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
	「小中学生専用なやみホットライン」の相談数(件)	15	37	-	小学校「いじめアンケート」調査の結果(解消件数÷認知件数)(%)	89.76	91.19	100.00
	「いじめ報告・相談アプリ」の相談数(件)	62	65	-	中学校「いじめアンケート」調査の結果(解消件数÷認知件数)(%)	92.38	88.10	100.00
令和6年度の取組みと評価・改善点				令和7年度の現状・課題・取組み				
・取組 小中学生専用なやみホットライン周知のため、連絡先が記載されたカードを市内全小中学生に配付するとともに、中学生には相談アプリを提供し、複数の相談先・相談方法を確保することで悩みや困りごとを抱える児童生徒の早期発見と早期対応に努めました。				・現状 生涯学習センター内に常駐する相談員が相談を受ける小中学生専用なやみホットラインを設置するとともに、中学生には匿名での相談が可能なアプリを提供しています。いじめの相談だけでなく、こどもたちが抱える多様な悩みや想いを受け止め、必要な支援に繋がるよう対応しています。				
・評価 対応した相談の中には「誰にも相談できない」「誰に相談したらいいかわからない」といった児童生徒や匿名での相談を希望するケースもあったことから、こうしたニーズも含め、悩みや困りごとを抱える児童生徒の相談に幅広く対応することができました。				・課題 児童生徒が抱える不安や悩み、困りごとは多様化しており、こうした児童生徒の早期発見・早期対応に向け、悩みを持った児童生徒が迷わず相談できる環境を整えるとともに、適切な支援に繋がるよう関係部局・関係機関との連携を一層強化していく必要があります。				
・課題に対する改善点 児童生徒が迷わず、安心して相談できるよう、相談窓口の周知に努めるとともに、相談を受けた際には、思い切って相談してきた児童生徒が、自身の想いを吐き出せるよう、まずは傾聴に努めるとともに、相談内容に応じて、適切な支援に繋げるよう努めました。				・取組 令和7年度も引き続き、ポスターやリーフレット等を作成しこどもたちへの周知に努め、幅広く相談を受け止めるとともに、教育委員会内の各専門職の知見を活かしながこどもたちが抱える悩みや困りごとの解決に向け支援していきます。				

児童・生徒の安全確保と健康増進

いじめ等防止対策推進事業	いじめ、不登校、児童虐待など児童生徒が置かれた環境への働き掛けや関係機関等とのネットワークの構築、連携・調整を行うスクールソーシャルワーカーを配置します。また、いじめや不登校などの予防と対策のためにWEBQU（学級集団アセスメント）検査を実施します。							
	担当課	R6当初予算		R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
	指導課	32,773		25,578	9,236	35,498	0	35,498
	主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
小学校いじめ認知件数（件）	4,427	4,381	-	小学校「いじめアンケート」調査の結果（解消件数÷認知件数）（％）	89.76	91.19	100.00	
中学校いじめ認知件数（件）	407	353	-	中学校「いじめアンケート」調査の結果（解消件数÷認知件数）（％）	92.38	88.10	100.00	
令和6年度の取組みと評価・改善点				令和7年度の現状・課題・取組み				
・取組 いじめアンケートを行うほか、一人一台端末を活用した心の天気やWEBQU等を通じて児童生徒の状況把握に努めました。また、スクールロイヤー、生徒指導アドバイザー、スクールソーシャルワーカーといった専門性の高い人材を配置し、関係機関と連携しながら、多様な課題を抱える児童生徒の支援体制構築に努めました。				・現状 いじめの認知件数は減少傾向にありますが、重大事態に至る件数は依然横ばいで推移しています。児童生徒が安心して学校生活を送れるよう、いじめ等の事案に対して、学校現場において適切な対応を徹底し、早期発見・早期対応に努めるとともに、未然防止に取り組んでいく必要があります。				
・評価 スクールロイヤー等による教職員研修を通じて、学校現場において、いじめ等の事案を早期に発見し、適切に対応できる体制の推進を図るとともに、事案を認知した場合には、被害児童生徒及びその保護者に寄り添った対応を心掛け、安心して学校生活を送ることができる環境の確保に努めました。				・課題 いじめの未然防止、早期発見・早期解決していくためには、学校現場における適切な対応を徹底するとともに、児童生徒のいじめの問題への理解を深めていく必要があります。また、いじめ等の事案の背景として、多様な要因が存在することも想定されるため、様々な専門職や関係機関と連携した対応が求められます。				
・課題に対する改善点 いじめ防止相談対策室にスクールロイヤー、生徒指導アドバイザー、スクールソーシャルワーカーといった専門職を配置し、児童生徒、保護者、学校への支援体制強化に努めました。				・取組 いじめをはじめ、認知した事案が重大化・深刻化しないよう学校を支援していきます。また、学校だけでは解決が困難な事案への対応に当たっては、生徒指導アドバイザー、スクールソーシャルワーカーといった専門性の高い人材を活用し、関係機関と連携しながら解決に向け取り組んでいきます。				

児童・生徒の安全確保と健康増進

学校給食公会計化事業	私会計である学校給食費の徴収及び食料費の支払いについて、市一般会計で取り扱う公会計化をはかり、教職員の負担軽減と、支出の透明性確保を図ります。							
	担当課	R6当初予算		R6決算見込	R6職員給与費(目安)	R7当初予算	R7特定財源	R7一般財源
	学校教育課	1,048,957		1,122,021	19,791	1,307,541	1,256,833	50,708
	主な活動指標	R5実績	R6実績	R7目標(予定)	主な成果指標	R5実績	R6実績	R7目標
	収納率(%)	99.29	99.30	99.30				
令和6年度の取組みと評価・改善点				令和7年度の現状・課題・取組み				
・取組 第3子以降無償化制度や就学支援制度、生活保護制度など様々な制度啓発を併せて取り組みました。				・現状 現在の価格で安心・安全な学校給食が提供できるよう、食料提供事業者を増やすとともに、第3子以降無償化制度等の保護者負担軽減施策について積極的な啓発に取り組んでいます。				
・評価 保護者負担の軽減について、積極的啓発を行い、きめ細かな対応を行うことができました。				・課題 物価高騰の中でも、規定の予算内で安心安全な学校給食の提供ができるよう、きめ細かな対応が求められています。				
・課題に対する改善点 物価高騰の影響により、適正額の徴収と負担軽減政策等の啓発が課題となっていました。第3子以降無償化制度や就学援助制度について、全員ちらし配布と広報掲載、メール配信により積極的周知を行い対象世帯から申請をいただくことができました。				・取組 食料を安価で安定的に供給が可能な事業者との取引ができるよう、様々な事業者と協議の上、食料の共同発注等に積極的に取り組んでいきます。				